



発行所 長野市大字栗田2142番地 長野県農業卸商業協同組合 TEL. (026) 228-5730 FAX. (026) 228-5818 定価 1部50円(税込)

随筆 「自己紹介」

株式会社エス・ディー・エス バイオテック 関東甲信越営業担当 小倉守彦



平素より大変お世話になっております(株)エス・ディー・エス バイオテック 営業部営業推進グループ関東甲信越担当の小倉と申します。この度は「信州の農業紙」への掲載の機会を頂き、誠にありがとうございますとさせていただきます。私の生まれは大分県ですが、育ちは神奈川県や北海道であり、各所を転々としております。農業の観点からは、温泉が有名で大分県ではありませんが、私の生まれた北部は平野で温泉が極めて多く、農地に恵まれない大分県の中でも穀倉地帯となっており、また焼酎が全国的に有名となっております。園芸作物ではブドウ・ナシ・モモ・カンキツの他、近年ではネギの生産が著しいとされます。弊社ではタコニール1000やパスポート顆粒水和剤の有効成分であるTPNをはじめ化学殺菌剤原体、除草剤原体であるベンゾピシロン・カフエンストロール・タイムロン・塩素酸ナトリウム、BTや無機銅剤などの生物資材、有機JAS対応農薬原料などの原体や製剤を製造・販売しております。日頃から弊社製品にご愛顧を賜りまして、御礼申し上げます。

私の担当は関東甲信越の1都9県に加え、富山・石川・静岡の一部も担当しており、北は佐渡から南は小笠原までの範囲で剤の普及に努めておりますが、剤に関する各販売会社のご担当者様から詳細

なご紹介があるかと存じます。また原体販売が主体の為、ご挨拶できていない方々の方が多いかと思っております。つきましては紙面を頂きまして自己紹介をさせていただきます。私の生まれは大分県ですが、育ちは神奈川県や北海道であり、各所を転々としております。農業の観点からは、温泉が有名で大分県ではありませんが、私の生まれた北部は平野で温泉が極めて多く、農地に恵まれない大分県の中でも穀倉地帯となっており、また焼酎が全国的に有名となっております。園芸作物ではブドウ・ナシ・モモ・カンキツの他、近年ではネギの生産が著しいとされます。弊社ではタコニール1000やパスポート顆粒水和剤の有効成分であるTPNをはじめ化学殺菌剤原体、除草剤原体であるベンゾピシロン・カフエンストロール・タイムロン・塩素酸ナトリウム、BTや無機銅剤などの生物資材、有機JAS対応農薬原料などの原体や製剤を製造・販売しております。日頃から弊社製品にご愛顧を賜りまして、御礼申し上げます。

私の専門は全く違うもので、また大学院での研究分野も農業とも学部とも違うものでしたが、弊社に就職し最初に配属となったのが研究所の有機合成分野でした。農業の経験も家庭菜園程度しかありませんが、故か3年前に営業部に配属され、皆様に指導頂きながら現在に至ります。これまで長野県には住んだことはございませんが、趣味がハイキングのため仕事よりも趣味で訪れることの方が多いです。夏は秋は日本アルプスの縦走、冬は春はスキーと年中長野県に参っており、高山植物のお花畑・紅葉の渓谷・大雪の後のパウダー・スノー・春先の高い山の山頂からの長い滑走など、長野県の大自然は楽しむべきことが多いです。ハイキングもさることながら、帰りに道の駅などで旬の野菜や果実を買って帰るのも大きな楽しみで、長野の野菜も果実もお土産で評判がよく、大人気です。そのような長野の高品質な農作物の生産に貢献できるような努力を参りますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

令和7年版農作物病害虫・雑草防除基準の野菜・花きに関する主な改正点を解説する。野菜類に関する主な改正点 1 令和7年版に新たに追加された農薬

- クプロシールド(トマト、ミニトマト)「かいよう病」
○カッパーシン水剤(きゅうり)「斑点細菌病」
○ベルクトフロアブル(きゅうり)「炭疽病」
※きゅうりでは、これまでも「褐斑病」の防除に記載があったが、新たに「炭疽病」の防除にも記載された。
○フモン(きゅうり)「ハダニ」
○ファンタジスタ顆粒水和剤(キャベツ)「株腐病」カリフラワー「黒すす病」
○レーバスターフロアブル(キャベツ)「べと病」
○アミスター20フロアブル(キャベツ)「黒斑病」
※キャベツでは、これまでも「株腐病」の防除に記載されていたが、新たに「黒斑病」の防除にも記載された。
○ファインセーフフロアブル(キャベツ)「ブロッコリー」「アザミウマ類」
○アフエットフロアブル(カリフラワー)「黒すす病」
○シグナムWDG(カリフラワー)「黒すす病」
○ベネビアOD(ブロッコリー)「アザミウマ類」
○ケンジャフロアブル(はくさい)「黒斑病」
○ダズメット剤(ガスタード微粒剤、バスアミド微粒剤)「レタス、非結球レタス」「コル

病害虫防除所 主任 若林秀忠 中南信担当 技師 増澤高亨
ボトビカ水和剤(いちご)
○スミレックスくん煙顆粒(いちご)
○マイトクリン(キャベツ)
○テレオ水和剤(レタス)
○セルオーフロアブル(レタス)
○ドーマインシン水剤(レタス)
○ロブド水和剤(レタス)
○フロンサイド水和剤(アスパラガス、ばれいしよ)
II 花き類に関する主な改正点
1 令和7年版に新たに追加された農薬
2 登録失効・変更または製造中止等に伴い令和7年版から削除された農薬
○ステンレス(きょうりゅう)
○フロンサイド水和剤(ゆり、チューリップ)
○ジメトエート粒剤(チューリップ)
○ドーマインシン水剤(シンクランメン)
○テデオシン水剤(花き類・観葉植物)
III 除草剤に関する主な改正点(野菜類・花き類)
1 令和7年版に新たに追加された農薬
該当なし
2 登録失効等に伴い、令和7年版から削除された農薬
○ダイヤメート水和剤(きょうりゅう)

「令和7年長野県農作物病害虫・雑草防除基準」
発行：令和7年2月 販売中
価格：900円(消費税込み・送料別途)
お問い合わせ：ご注文は、(一社)長野県植物防疫協会 電話026(235)3510 までお願いします。

BASF We create chemistry
果樹、野菜の味方!
BASFの4製品が守ります
除草剤 高濃度少量散布ができる! 果樹園の下草防除に
殺菌剤 黒星病や褐斑病防除に 新規の有効成分配合
ベランティー® フロアブル
殺菌剤 2つの有効成分で 野菜の幅広い病害をブロック!
シグナムWDG
殺菌剤 アブラムシ専用剤新登場! ダンシング効果で葉菜類を守る!
セフィーナDC
BASFジャパン株式会社
東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 O.V.O.L日本橋ビル3階
0120-014-660 https://crop-protection.basf.co.jp/

ハダニの卵~若虫に効果を発揮!
エコマイト®
ダニ防除剤
チョウ目害虫におすすめ!
兼商 ヨーバル®
害虫防除剤
フロアブル
病害とナメクジ類の同時防除に!
兼商 クプロシールド®
病害防除剤
アグロ カネショウ株式会社 関東支店 中部営業所
TEL. 026-224-1265

ダコニール 1000
「ダコニール」、「ダコニール1000」は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。
病害の予防・同時防除
ダコニール1000が
コスト削減の第一歩!
70種類以上の作物、
およそ180種類の病害に登録
病害防除に役立つ情報を
写真とイラストで紹介
ダコニール倶楽部
Daconil Club
株式会社 エス・ディー・エス バイオテック

当面の技術

3月・4月の病害虫対策

りんご・ぶどう・もも

果樹試験場

技師 島袋稚子(病害)
研究員 養島萌子(虫害)

りんごの病害

リンゴ黒星病

重点防除時期は展葉期から落花期である。展葉期にはペルコート水和剤を散布し、開花直前までの防除が空く場合には、アントラコール顆粒水和剤またはパスポート顆粒水和剤を追加で散布する。パスポート顆粒水和剤は散布時期が遅れると果実にさびを生じることがあるので注意する。開花直前にはミギワ20フロア

リンゴ腐らん病

本病は傷口からのみ感染する。発芽前の防除はせん定後の傷口からの感染を防ぐことが目的である。薬剤は石灰硫黄合剤、トップジンM水和剤を散布する。腐らん病菌は

3月・4月の病害虫対策

野菜・花き

野菜花き試験場

技師 藤 結宇(病害)
研究員 山岸 希(虫害)

【病害】

3〜4月は低温過湿条件下好む病害が発生しやすく、凍霜害等による傷口は発病を助長する。また、この時期は春〜夏作に向け、ほ場整備を兼ねた土壌病害対策に着手する時期でもある。対策にあたっては、各種病害の発生や天候を注視して実施する。

【菌核病】

本病害はスクレロティニア属菌による糸状菌病害で、多犯性の病害であるため、多くの作物で問題となる。病徴は、感染部位に白色の菌糸を形成し、病徴が進行した部位では、黒褐色粒でネズミの糞状の菌核が形成される。この菌核は土壌中で複数年に渡って生存するとともに、翌年の発生源になる。菌核の発芽には、低温(約4℃)で1か月程度の期間が必要とされる。したがって、晩冬〜春先の低温が引

周年にわたりほ場内に存在するので、化学的防除だけでは対策が困難である。そのため、耕種的防除も取り入れて総合的に防除する。この時期の耕種的防除は、せん定後に切り口に殺菌剤を塗布することや、病斑部のせん除や削り取りがある。発芽期以降は、腐らん病によって枯死した樹や枝を見分けやすいので、せん除、削り取りを実施して頂きたい。削り取りやせん除によって発生した罹病部は拾い集めて焼却するか土中に埋める。本病の防除において地域全体で菌密度を低下させることが重要であるため、地域をあげての一斉点検を実施する。リンゴ菌核病 病原菌は芽の組織内で越冬

【土壌病害】

フザリウム属、リゾクトニア属、ピシウム属などに代表される立枯病、根腐病、萎凋病や根こぶ病、疫病などの土壌病害の多くは地温の上昇する初夏〜夏秋期に発生が問題となりやすい。一方、作付面積の大きい品目や作期の長い品目は、3〜4月にかけてほ場整備を進めつつ対策を実施する場合が多い。この時期は低温や、降雪の影響等が懸念されるため、土壌消毒(土壌くん蒸)の実施にあたっては十分な効果が得られるよう以下の点に注意する。 土壌くん蒸剤の消毒期間は、低温(地温7〜10℃)帯では概ね20〜30日と、高温期よりも十分な消毒期間が必要である。重粘質土壌の場合にもガスの拡散に時間を要する。また、土壌の水分状態も効果や被害に影響を及ぼす。乾燥・過湿のいずれにおいても十分な土壌消毒効果は得られず、薬剤の残留によって被害のリスクが高くなることから、総じて適温(土壌を握って崩れない程度)条件での処理を目標とする。薬剤処理後は栽培開始後には葉裏を中心に

【虫害】

ハダニ類

主に施設栽培で問題となる。冬季に施設内で越冬していた個体や、育苗中に発生して持ち込まれた個体が、施設内の温度上昇とともに増殖する。3月定植の夏秋どりいちごの場合、苗で持ち込んだ個体が定植後に増殖し、4月上旬には施設内全体に蔓延する事例もある。ハダニ類は増殖力が強いので発生初期の防除が肝要である。栽培前に施設内・周囲の環境整備等、耕種的防除を行うほか、育苗中、栽培開始後には葉裏を中心に

枝の分岐部や芽の基部、樹皮のくぼみ等に産み付けられた卵で越冬する。越冬卵が多い園では、発芽前にマシンの油剤を枝幹部に塗布が十分かかるよう、丁寧に散布する。 ○ぶどうの病害 ○ブドウ黒とう病 「シャインマスカット」「クインルージュ」などの欧州系品種は本病に弱い。休眠期防除は発芽期が近づいた頃に必ず実施する。効果のある薬剤として、ゼランフロアブル、石灰硫黄合剤がある。ただし、石灰硫黄合剤を散布する場合は晩腐病対策として、ペンレート水和剤も散布する。また、本病に感染した結果枝や巻きひげは、3年程度は伝染源となるため、見つけ次第速やかにせん除する。

【虫害】

ハダニ類

ハダニ類の有無を確認し、生息が確認された場合は速やかに防除を行う。 ○アブラムシ類 野外の広範な雑草で増殖し、施設や寒冷紗内の野菜や、定植後の露地野菜等を吸引加害する。加えて、アブラムシ類は「EMV」(カブモザイクウイルス)などのウイルスを媒介するほか、高密度になることと茎葉の萎凋症状や排泄物に由来する汚れ(すす病)が発生する。葉野菜産地では標高1,000m以下の準高冷地および平坦地では3、4月はレタス、温暖地ではハクサイ(春播きハウス育苗)の定植と(春播きハウス育苗)の定植となる。育苗施設の開口部には防虫ネット(0.8mm以下)を展張し、有翅虫の侵入を防止する。殺虫剤のセルトレイ処理や定植時植穴処理により、定植後の生育初期は安定した防除効果が得られる。

【虫害】

コナガ

高冷地では5月以降に発生が増加するが、標高800m以下の地域では4月でも定植後から幼虫の食害がみられる。育苗中は寒冷紗や防虫ネットを活用し、成虫の飛来、産卵を防止する。なお、一般的にべた掛けよりもトンネル掛けの方が有効であるとされる。アブラムシ類防除と同様に、殺虫剤のセルトレイ処理や定植時植穴処理が有効である。ジアミド系薬剤に対する抵抗性が確認されているため、薬剤の選定に注意する。 ○ネキリムシ類 カブラヤガ、タマナヤガ等の幼虫の総称であり、植物付近の地中に生息する。幼虫越冬するため、春の比較的早い時期から被害がみられる。作物を株元から噛み切り、地中に引き込んで摂食する。出芽後または定植後に一部の株が倒れ、株元に噛み切られたような痕があればネキリムシ類による食害の可能性が高い。被害株があった場合は周辺を掘り幼虫を捕殺するほか、株周辺に対象作物に登録のあるベイト剤を散布する。 また、耕作放棄地や雑草地に隣接した圃場では被害が大きくなるため、定植時に殺虫剤(土壌処理剤または苗灌注剤)を使用する。

の毛じ内や粗皮下、ブドウハモグリダニは芽のりん片の内側や毛じ内で越冬する。前年発生が多かった園では、休眠期(発芽前)に石灰硫黄合剤を散布する。 ○ももの病害 ○モモせん孔細菌病 昨年、発生は少なかったが、モモ・ネクタリンでは最重要病害であるため、今年度も引き続き防除徹底をお願いしたい。 ・春型枝病斑のせん除 病原細菌は新梢の皮部組織内で越冬し、4月に入り気温が上昇してくると紫褐色〜紫黒色の病斑(春型枝病斑)をつくり、ここで繁殖した細菌が雨滴にまじって伝染する。このため、一伝染源となる春型枝病斑のせん除が重要となる。開花期頃(5月)には、いにかけて、定期的に園地全体を巡回し、せん除を徹底する。また、せん除する際には健全部の芽を2芽程度含めて大きく切り戻す。春型枝病斑のせん除は手間がかかるものの、一次伝染源を減らし、園内の菌密度を低下させることができる有効な手段であるため、必ず実施する。 ・薬剤防除 開花初めはせん孔細菌病の重点防除時期となる。せん孔細菌病の発生園ではこの時期に、ICホルダー412または

【虫害】

コスカシバ

本種の防除を前年の収穫後(秋期)に実施していない園では、被害部の樹脂を取り除き、発芽直前にガットキラー乳剤100倍液、フビキラー乳剤200倍液のいずれかを寄生部位の枝幹に散布する。なお、ラビキラーはネクタリンでは使用できない。または、開花期までにフェニックスフロアブル500倍液を地際部から地上1m位までの樹幹及び主枝に散布する。なお、いずれも使用回数は1回のため注意する。また、交信かく乱剤スリバコンLの設置も次世代の密度抑制に有効である。 ○ウメシロカイガラムシ 雌成虫が枝や幹に寄生して越冬する。発生密度が高い場合は、休眠期にブラシ等で枝幹部から物理的に虫を除去する。

トピックス

農薬安全コンサルタント協会総会開催される

(一社)日本植物防疫協会主催の研修終了者で組織する長野県農薬安全コンサルタント協会(会員数74名)の平成7年度通常総会が1月23日に長野市で開催されました。 総会に先立ち、長野県農政部長、農政課の大池英樹企画幹事、企画係長による第4期長野県食と農業農村振興計画についてをテーマとした研

3月から6月の病害虫対策

水稲・小麦

農業試験場

研究員 中島宏和(病害)
研究員 阿曾和基(虫害)

(直播水稲)

近年、県内においても省力低コスト化を図るために直播栽培が徐々に拡大しつつある。この背景に産業用マルチローター(ドローン)を用いた散播による直播栽培の試みや、湛水直播用の新規種子コーティング資材であるリゾケアXLの開発がある。ドローンは農薬散布機として県内に急速に普及している。ドローンによる散播は直播専用機を必要としないため、比較的容易に直播栽培を取り組み始めることができる。ただし、散播は専用機による条播と比較して播種深度が浅くなりやすいため、倒伏しやすくなるなどの問題もある。農業試験場ではドローン散播に適した栽培技術の確立に向けた試験を始めている。

リゾケアXLは酸素供給剤と初期害虫を対象とした殺虫剤、ピシウム菌を対象とした

新しく普及に移す農業技術

「ハクサイ黒斑病防除にケンジャフロアブルが有効である」

【技術内容】

- ・ハクサイ黒斑病防除にケンジャフロアブルの1500倍液を散布する。
- ・本剤はくさいへの使用時期は収穫前日まで、本剤の使用回数は3回以内である。
- ・その他の適用病害は、菌核病である。

【ハクサイ黒斑病とは】

ハクサイ黒斑病はアルタナリア属の糸状菌病害であり、地上部に発生した病斑から風雨等により胞子を飛散させ、感染を広げていく。他の品目

育苗期に問題となる病害として種子伝染性病害であるイネばか苗病とイネもみ枯細菌病(苗腐敗症)、土壌伝染であるイネもみ枯細菌病の一部の地域で穂枯症の発生が目立っているため、本田への菌の持ち込み量を減らすためにも苗腐敗症の防除が重要となる。本菌の発病適温は30℃以上と高温であるため、耕種対策として催芽・出芽温度を28℃に下げることが有効である。また、有機物含有率の高い軽量培土の使用も発病抑制に有効である。薬剤防除は、種子消毒のテクリードCフロアブル、播種時処理のカスミン剤(液剤、粒剤)の体系処理が有効である。環境にやさしい技術として温湯処理または生物農薬の使用が有効であるが、これらの単独処理では環境条件によって効果が不安定になる場合があるため、体系処理を推奨している。イネばか苗病も同様の種子消毒方法で防除できる。ただし、採種圃場や、その周辺圃場では健全な種子の生産が求められることから、テクリードCフロアブルやモミガードC水和剤等の

(小麦・病害)

近年はコムギ赤かび病の発生量が多い傾向が続いている。本病は開花期以降の高温多雨条件で発病が助長される。近年はこの時期に感染に好適となる気象条件が複数回観測されており、発生量の増加の要因の一つと考えられる。本病は減収の要因となるだけでなく、病原菌が人畜に対する毒素(マイコトキシン)を産生する小麦の重要病害である。農産物検査法等により赤かび粒の混入や毒素の残留が厳しく規制されているため、常に発生を警戒する必要がある。防除対策はトップジンMゾル、ミラビスフロアブル、シルバキュアフロアブル、ワークアップフロアブル(ド)の異なる薬剤をローテーション使用する。

効果の高い化学農薬を使用する。イネ苗立枯病は原因となる病原菌が複数存在する。いずれも生育初期の低温遭遇によって発病が助長されるため、適切な温度管理や水管理による発病を防ぐことが重要である。薬剤防除は問題となる病原菌に合わせて薬剤を選択し、培土に灌漑か混和によって播種前に処理する。

【ケンジャフロアブルの特徴と効果】

本剤の有効成分はイソフェタミド、FRACコード7のSDHI剤と呼ばれるグルーアの殺菌剤である。病原菌の

葉面散布用カルシウム肥料

ストピットII

STOPIT THE SECOND

果実のカルシウム欠乏症の予防、品質向上に

炭酸カルシウム水和剤 農薬登録No.9385

クレフノン

CLEF-NON

リンゴ、カキ、ナシの果面保護に

資料請求先

白石カルシウム株式会社

食品アグリ資材G/〒104-0031 東京都中央区京橋1-11-1 TEL. 03-3538-2354

などを開花期に散布し、多発が予想される場合は1回目散布の10~14日後に追加散布を行う。これらの薬剤はドローンによる空中散布の農薬登録もある。ドローンによる液剤散布は地上散布と比べて風の影響を受けやすく、散布ムラが生じやすい。散布ムラが生じると防除効果が低下するため、散布をする際は、有効散布幅を守り、無風時に均等に散布することを心がける。

(水稲・虫害)

育苗期に注意を要する害虫はそれほど多くはないが、育苗中に予期せぬ害虫被害に遭遇することがある。その一つにイネアオムシ(フタオビコヤガ)による被害がある。イネアオムシは北信地域では5月下旬頃に発生した越冬世代の保毒虫が移植期から分げつ期のイネにウイルスを感染させる。防除対策としては、ウンカ類に効果の高い苗箱施肥剤が有効である。このほか、ヒメトビウカの越冬量を減らすため、越冬場所となる休耕田の秋耕、畦畔雑草の草刈りを行うことも重要である。また、麦類作付圃場は第1世代幼虫の生息地となる場合が多い。麦類作付地域ではイネ縞葉枯病の発生動向に特に注意する必要がある。

ムシが主な防除対象となるが、苗箱施肥剤が有効であり、近年は被害が問題となることが少ない。

注意すべき害虫としてヒメトビウカがある。近年、西日本や関東地方の一部では、ヒメトビウカが媒介するイネ縞葉枯病が増加傾向にあり、問題となっている。本県においては1970年代以降、イネ縞葉枯病はほぼみられなかったが、平成30年に東信地域の一部で発生が確認された以降、発生地域はやや拡大傾向にある。ヒメトビウカは幼虫が麦やイネ科雑草で越冬し、麦で発生した第1世代成虫が水田に飛来する。縞葉枯病ウイルスはヒメトビウカに経卵伝染し、第1、第2世代の保毒虫が移植期から分げつ期のイネにウイルスを感染させる。防除対策としては、ウンカ類に効果の高い苗箱施肥剤が有効である。このほか、ヒメトビウカの越冬量を減らすため、越冬場所となる休耕田の秋耕、畦畔雑草の草刈りを行うことも重要である。また、麦類作付圃場は第1世代幼虫の生息地となる場合が多い。麦類作付地域ではイネ縞葉枯病の発生動向に特に注意する必要がある。

農林水産省登録 第24422号

想像を超える

殺虫剤 チョウ目・ハムシ専門剤

プロアールSC

三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

りんご・かき・ブドウの病害に

ピオネクト

コスカシバ・ブドウトラカミキリの特効薬

トラサイドA 乳剤

無機銅と硫黄の殺菌剤
ポジティブリストの対象外
ぶどうのべと病、晩腐病対策に

園芸ボルドー

刺激が少なく使いやすい総合土壌くん蒸剤
除草、病害虫、センチュウ防除に

キルパー

サンケイ化学株式会社

東京本社 東京都台東区上野7-6-11 TEL. 03-3845-7951(代)

グレーシア 乳剤

速く効く

有効成分が直接害虫に作用するから、作物が食べられる前に駆除できる。

幅広い害虫に効く

チョウ目害虫やアザミウマなど 広範囲の「害虫」に効果。

NEW!! 新登場!! 5L大型規格

日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissanagro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30 土日祝除く)

病害虫・雑草防除基準の解説

水稲・普通作物

病害虫防除所 担当係長 藤沢喜一
中南信担当 主任 内田英史

令和7年度長野県農作物病害虫・雑草防除基準の主な改正点は、新たに普及に移す農業技術に採用された農薬を追加した。

1. 病害虫防除
(1) 水稲
① 追加、削除された主な農薬
普及に移す農業技術に採用された以下の農薬を追加した。

・ドイトボルドーA
登録が失効した次の農薬を削除した。
・ビーム水和剤75
・デジタルコラトップ箱粒剤

② 追加された防除技術
【本田】
・イネ稲こじ病防除にドイトボルドーAの2000倍液を出穂10〜21日前に10aあたり150L散布する。

・本剤のイネ稲こじ病への防除効果は出穂10〜21日前の散布が最も高い。出穂10〜21日前は一般的に幼穂長がおおよそ1〜5cmとなる時期であるため、幼穂長を確認してから散布する。

・散布予定ほ場の平年の出穂期から当年の出穂期を予測し、出穂15日前となる日を散布日として予定しておくこと。
・出穂10日前以降は葉害が生じやすいため、使用をさけること。

・散布後の降雨により効果が急激に落ちる場合がある。
・本病は土壌伝染性の病害であり、過去に発病があつて出穂前の降雨が多い年は発病が多くなるので注意が必要である。

① 追加された主な農薬
普及に移す農業技術に採用された移殖水稲用初期除草剤として以下の除草剤を追加した。

・カイリキZフロアブル
・ラオウジャンボ
・販売量の減少、販売終了に伴う以下の農薬を削除した。
・イッポンDフロアブル
・イッポンDジャンボ

・モーレツ1キログラム剤
・ヤイバ1キログラム剤
・ヤイバジャンボ
・ヤイバ豆つぶ250
・ワンオールS1キログラム剤
・ワンバスターフロアブル
・月光ジャンボ
・月光1キログラム剤
・半蔵1キログラム剤
② 追加された防除技術
【移殖水稲の初期除草剤】
・ノビエなどの一年生雑草及びホタルイの防除に水稲用初期除草剤のサラブレッドGO400FG、ラオウジャンボ、カイリキZフロアブルの散布が有効である。

・サターン乳剤
・サターンバロア乳剤
・ザンテツ1キログラム剤
・サンバード粒剤
・シェリフ1キログラム剤
・ジョイスターLフロアブル
・シヨッカーフロアブル
・シンゲ乳剤
・ゼータワン1キログラム剤
・ゼータワンフロアブル
・ゼータワンジャンボ
・ダッシュワンフロアブル
・ダブルスターSB顆粒
・ツインスター1キログラム剤
・トップガンGT

・1キログラム剤51
・トップガンLフロアブル
・トップガンL250グラム
・トップガンLジャンボ
・ドニチS1キログラム剤
・マクダス1キログラム剤
・バッチリ1キログラム剤
・バッチリフロアブル
・バッチリジャンボ
・ブイゴールSM1キログラム剤
・ブルゼータ1キログラム剤
・ベストパートナー

・ベストパートナージャンボ
・ボデーガード1キログラム剤
・ボデーガードフロアブル
・ボデーガードジャンボ
・ミスターホームラン
・1キログラム剤51
・ミスターホームランL
・フロアブル
・ミスターホームランL
・ジャンボ

なお今回は農薬個々の登録内容については掲載を省略した。農薬の使用にあたっては、最新の登録内容をよく確認していただきたい。また、防除基準掲載農薬における登録内容の変更は、随時、長野県病害虫防除所のホームページに掲載するので、ご確認いただきたい。

追加した除草剤はそれぞれ除草体系、除草剤の使用方法に記載した。

長野県病害虫防除所
農薬情報ホームページ

【誘蛾灯】
りんご生産者の中には、意外にもりんごをあまり食べない人がいると聞く。私にとつての干柿も同じようなもので、家で市田柿を生産している身近にありすぎたせいか、若い頃はほとんど食べなかつた。しかし、あることを契機に好物となり、今では欠かせない存在になっている。

誘蛾灯
りんご生産者の中には、意外にもりんごをあまり食べない人がいると聞く。私にとつての干柿も同じようなもので、家で市田柿を生産している身近にありすぎたせいか、若い頃はほとんど食べなかつた。しかし、あることを契機に好物となり、今では欠かせない存在になっている。

新しく普及に移す農業技術

キャベツ株腐病防除にファンタジスタ顆粒水和剤が有効である

「キャベツ株腐病防除にファンタジスタ顆粒水和剤が有効である」
【技術内容】
・キャベツ株腐病防除にファンタジスタ顆粒水和剤の使用は収穫3日前まで、本剤の使用回数は3回以内である。

・本剤のキャベツへの使用時期は収穫3日前まで、本剤の使用回数は3回以内である。
・その他の適用病害は、黒斑病、根朽病、菌核病、灰色かび病である。

【ファンタジスタ顆粒水和剤の特徴と効果】
本剤の有効成分は、ピリベトニカルブ、FRACコード11のQoI剤(ストロビリリン系薬剤)の1つである。QoI剤は病原菌の呼吸系に作用し、予防効果、治療効果が起す。多犯性の菌として知られており、レタスのすす枯病、はくさいの尻腐病、多くの作物の苗木枯病などの病原で

もめる。病徴は、はじめキャベツの地際部や外葉部が水浸状に腐敗する。病徴が進むと結球部が黒色に腐敗し、収穫困難となる。病斑部には扁平で不整形の菌核が形成される場合もある。高温多湿条件を好み、梅雨時期を中心に初夏〜夏秋作まで発生が問題となる。

【利用上の留意点】
(1) 本病の防除にあたっては、結球始期からの予防的な薬剤散布が重要である。
(2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、作用機構(FRACコード)の異なる薬剤をローテーションする。

シヨン使用する。
(3) 魚類に影響を及ぼすので河川、湖沼及び養魚池への飛散流入防止対策を講じる。
(4) 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきる。
(5) 農薬の使用にあたっては、農薬ラベル等での登録の有無、使用時期等の最新の情報を必ず確認する。

【利用上の留意点】
(1) 本病の防除にあたっては、結球始期からの予防的な薬剤散布が重要である。
(2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、作用機構(FRACコード)の異なる薬剤をローテーションする。

【利用上の留意点】
(1) 本病の防除にあたっては、結球始期からの予防的な薬剤散布が重要である。
(2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、作用機構(FRACコード)の異なる薬剤をローテーションする。

【利用上の留意点】
(1) 本病の防除にあたっては、結球始期からの予防的な薬剤散布が重要である。
(2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、作用機構(FRACコード)の異なる薬剤をローテーションする。

【利用上の留意点】
(1) 本病の防除にあたっては、結球始期からの予防的な薬剤散布が重要である。
(2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、作用機構(FRACコード)の異なる薬剤をローテーションする。

フロスタスター
凍害客のリスクを下げるコーヒー由来の天然抽出物が長野県の果樹を守ります！
1 低温予報の前日に本剤を500倍に希釈して散布してください。
2 散布液が乾くまでの時間を確保するために夕方以降の散布は避けてください。
3 1製品あたり20aを目安に散布してください。
対象作物
りんご なし もも おうとう かき 茶
その他果樹(花芽が霜害対象のもの)

どうもろこし畑の雑草防除に!
ブルーコマフロアブル
WEED KILLER
問題雑草の「イチビ」や「イヌホオズキ」にも優れた効果を示します。
石原バイオサイエンス株式会社
東京支店 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号
TEL 03-6256-9190 FAX 03-3237-0571

しやすく注意が必要である。
野菜花き試験場では、2021年及び2022年に防除効果及び薬害の確認を行ったところ、対照薬剤のアミスター20フロアブルやアフェットフロアブルと同等の防除効果(防除価72・1、76・7)を確認した。いずれの年も薬害は認められなかった。
【利用上の留意点】
(1) 本病の防除にあたっては、結球始期からの予防的な薬剤散布が重要である。
(2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、作用機構(FRACコード)の異なる薬剤をローテーションする。
(3) 魚類に影響を及ぼすので河川、湖沼及び養魚池への飛散流入防止対策を講じる。
(4) 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきる。
(5) 農薬の使用にあたっては、農薬ラベル等での登録の有無、使用時期等の最新の情報を必ず確認する。